

# 自治会活動 参加レポート



## No.17 協和二丁目自治会

### 「いちよう祭り」

(平成28年10月16日実施)

天気にも恵まれ、秋の装いも漂う午前11時。協和二丁目自治会「いちよう祭り」が始まりました。

協和二丁目自治会は、南街2丁目地域の69世帯で構成された自治会です。

会場に到着すると、カラフルな看板がまず目に入ってくると同時に、豊富な模擬店にもびっくりさせられました。豚汁、味噌田楽、わた菓子、フランクフルト、そして珍しくて大変良いアイデアだなと驚かされたじゃーじゃー麺と、どれも食欲を誘われるものばかり。お店では、大人に混じって子どもたちも一緒に手伝いをしており、世代間交流も図られ大変良い雰囲気。会場内は常に「いらっしやいませ〜」、「どうぞ〜」という元気な声が響き渡っていて、活気もありました。



▲模擬店の様子



▲ゲームを楽しむ子どもたち

お祭りといえばやはり「法被<sup>はっぴ</sup>」が思い浮かびますが、協和二丁目自治会では鮮やかな青の法被をみんなで羽織っており、祭りを盛り上げようという気持ち<sup>きもち</sup>がひしひしと伝わってきます。また、この法被は東京都の「地域の底力再生事業助成」を利用して作成したものであると窪田会長からお話を伺い、このイベントに向けてたくさんの準備を重ねてきたのだなと感じました。

正午からはいよいよ子どもたちが中心となるお神輿です。大人の呼びかけに子どもたちは元気いっぱいにお神輿の周りに集まり、中には大きなうちわを自分から取りに行ってお神輿を振る」と張り切っている子もいたほど。周辺地域では大人の「わっしょい、わっしょい」という掛け声に合わせて子どもたちの大きな「わっしょい、わっしょい」という声が響き渡り、声を聞きつけた住民の方々からは「頑張れ！」「お疲れさま～」との声援もあり、地域の温かさを感じました。お神輿町内巡回後には、窪田会長より東京2020五輪についての講和もあり、五輪への期待が高まりました。



▲「わっしょい！わっしょい！」



地域に根差したお祭り。これを通して多くの人と人とのつながりができていくのだと改めて感じさせられました。今回取材させていただいた行事でも次世代を担う子どもたちが多く参加していたので、後世へ継承していくために多くの人と関わり、触れ合うことの大切さを伝えられたのではないのでしょうか。今後この行事が世代を越えて続いていくことで、今まで以上により良い地域を作り上げていけるのではないかと期待できるひとときでした。



自治会加入を希望される場合には、ご近所の自治会役員、会員の方にお尋ねいただくか、市役所市民生活課市民協働係までお問合せください。

電話 042-563-2111 (内線1711)

ファックス 042-563-5931



▲協和二丁目自治会 窪田会長

※平成29年4月より課名が「地域振興課」へ変更となりました。